

未来のパティシエに全てを伝えたい



6月28日、世界的に活躍するパティシエの鎧塚俊彦さんが鹿屋中央高校で講習会及び講演会を行いました。講習会では鎧塚さんがフォンダンショコラとロールケーキの製造工程を解説しながら実演し、その後調理科と食物科の3年生が挑戦。午後からは講演会が行われ、生徒たちはプロの技術や考え方を少しでも吸収しようと真剣なまなざしで臨んでいました。

高須浜田の海岸清掃で汗を流す



6月28日、高須及び浜田海水浴場でボランティアによる海岸清掃が実施されました。これは、7月7日からの両海水浴場の開設に向けて県の建設業協会鹿屋支部青年部会と建築協会鹿屋支部青年部が主催し、町内会と協力して毎年行っているもの。約60人の参加者は、海岸に打ち上げられたゴミや流木の清掃、駐車場周辺の除草作業を行い、爽やかな汗を流していました。

ダンス指導に笑顔がはじける



6月11日、高隈小学校でNHK教育テレビ「Eダンスアカデミー」で講師を務めていたEXILE USAさんによるダンス教室が行われました。当初は高隈小学校の児童と共に田植えを行う予定でしたが、雨天によりダンス教室に変更。子どもたちは、サプライズで登場したUSAさんに驚きつつも、ヒット曲「Choo Choo TRAIN」の振付を時間いっぱい学び、ダンスを楽しみました。



かのやのホットな話題をお届け!

バスケット選手5人が鹿屋で合宿



6月27日～7月1日、市内でプロバスケットボール選手等が合宿を行いました。訪れたのは、スペインのプロチームに所属する岡田大河選手やアメリカでコーチ兼選手として活躍する岡田卓也選手など5人。期間中は串良平和アリーナや鹿屋体育大学でトレーニング等を行ったほか、6月28日には東原小学校で市内ミニバスケットボールチームとの交流会を実施しました。

日本一の鹿児島黒牛を笑顔で頬張る



6月28日・29日、市内中小学校の給食に鹿児島黒牛を使用したサイコロステーキが提供されました。これは、5年に1度開催される和牛のオリンピック「第12回和牛能力共進会」が10月に鹿児島県で開催されることに合わせて、共進会と鹿児島黒牛のPRを目的として行われたもの。寿小学校の渡邊蓮之介さん(1年生)は「おいしかった。また食べたい」とうれしそうに話しました。

アレンジ楽曲を楽団が披露



6月25日、市文化会館で「～楽団プロジェクトコンサート第1楽章～大隅の作曲家展」が開催されました。これは、令和2年度から大隅を拠点に活動する団体「鹿屋市文化会館楽団プロジェクト」が主催したもので、当日は大隅出身の作曲家5人がアレンジした楽曲を同楽団が演奏。朗読や映像とのコラボレーションも実施し、来場者は楽団メンバーが奏でる音色に耳を傾けていました。

75年の歴史に幕地域のために寄附



6月24日、株式会社鈴屋から1千万円の寄附金をいただきました。同社は昭和22年に北田町で服飾業として開業し、75年の節目で鹿屋店(本町)を閉店することから地元への恩返しと地域貢献のために寄附。同社の川上幹雄代表取締役は「創業者の祖父と同じ想いで地元を元気にしたいと思い、今回寄附を行った。鹿屋市の活性化のために活用してほしい」と想いを語りました。

犯罪や非行のない社会を目指して



7月1日、市役所で「第72回『社会を明るくする運動』の総理大臣メッセージ伝達式」がありました。同運動は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人の更生について理解を深めるための取り組み。肝属保護区保護司会の黒木次男会長は「最近孤独や生きづらさを抱える人による市販薬を用いたオーバードーズ(過剰摂取)が深刻化している。そういった人々を支えていきたい」と語りました。

デフリンピック銀メダルを獲得



6月29日、ブラジルで5月に開催された「第24回夏季デフリンピック競技大会」に出場した柿内康平選手が市役所を訪れました。デフリンピックとは耳の聞こえないアスリートのための大会で、柿内選手はパドミントン団体戦において銀メダルを獲得。「けがもありましたが、目標達成のために努力できた。良い結果を残すことができてよかったです」と喜びを語りました。

大判の迫力を感ずる絵画展



6月25日～7月10日、リナシティかのや2階ギャラリーで「郷土作家による鹿屋100号絵画展」が開催されました。100号絵画とは長辺が162cmのサイズのもので、今回は鹿屋市や近隣地域を拠点に県内外の美術振興に貢献している作家18人の作品32点を展示。訪れた人々は、本格的な大作を間近で鑑賞しながら、その迫力や繊細な描写に引き込まれていました。

ウクライナの国花ヒマワリで支援



6月25日、下祓川町の畑でヒマワリの切花収穫作業が行われました。これは、ウクライナからの避難民を鹿児島市で支援している団体「Crossroads Church」の川佳奈さんと、ヒマワリを支援に役立てたいパパイア研究会が協同して行ったもの。収穫されたヒマワリは26日にマルヤガーデンズ(鹿児島市)で販売され、その収益金は全額ウクライナの人々への支援金に充てられました。